

生物多様性未来継承プラン（仮称）検討会

日 時 平成30年11月19日（月）15時～17時
場 所 京都府庁 文化スポーツ部・環境部会議室

【委員等】細谷座長、浅野委員、加藤委員、佐久間委員、戸部委員、鳥居委員

【オブザーバー】奈良主査（文化財保護課）

【事務局】金谷副部長、藤岡課長、四方副課長、小田嶋主任

【主な意見】

- ・「データベース」ではなく「アーカイブ」としてはどうか。データベースはアーカイブの一環。
- ・「京都流地方創生」の4つの基本目標の中でも、「産業文化の創生」「京都ぐらし文化の創生」は、生物多様性があるからこそ初めて可能となる。
- ・「策定の趣旨」の2つの段落は入れ替えた方がわかりやすいのでは。2段落目の最初の部分を冒頭に移動させてはどうか。
- ・生物多様性の危機によって「私たちが何を失っているのか」を記載してはどうか。
- ・このプランは、子供やインバウンドの施策にも繋がると思う。ロードマップでは来年も検討するとしているが、今後、子供やインバウンド向けのプランとして、府知事向けの提案として検討していくことも可能ではないか。
- ・京都市の取組との関係について、本当は言及があった方がよいと思う。「各地の拠点と連携していく」という書きの方が収まりがよいかもしれない。
- ・データベースの情報を利活用するためには、データを検証する人間が必要。その役割は、生物多様性センター（仮称）とプラットフォームの両方でできればよいと思う。

以上